



令和8年1月

たちばなこども園

看護師 綱嶋友子



あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願ひ致します



新しい一年が始まりました♪ 今年は内午の年ですね。「火に関連する傾向が強い一年」と言われています。健康面では熱中症や火傷など更に注意をしていきたいですね！年末年始の長いお休みで大人も子どもも生活リズムが崩れているかと思います。まずは早寝早起きで生活リズムを整えていきましょう！

## 冬場に多い嘔吐・下痢



この時期、気をつけたいのが

ウイルス性胃腸炎(感染性胃腸炎)。ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどに感染すると嘔吐と水のようなひどい下痢になります。嘔吐と下痢を繰り返すと体内の水分が失われる所以脱水に注意です。また、吐物や便にはウイルスが含まれていますので、感染拡大をさせないために適切な処理と手洗い・うがいが必要です！

## 嘔吐・下痢のケア

- ♥安静にさせて様子をみます。寝かせる場合は吐物が喉に詰まらないよう横向きにしましょう。
- ♥吐き気が治まってから、子ども用イオン水や麦茶、味噌汁の上澄みをティースプーン一杯から少しづつこまめに飲ませます。(脱水予防)  
※冷たい飲み物をガブガブ飲むと刺激ですぐに嘔吐します。必ず常温又は少し温めたもので。
- ♥食事ができそうな場合は刺激が少なく消化の良い物(お粥、柔らかく煮たうどん、味噌汁等)を食べましょう。生もの、油分が多い物、パン、柑橘類、お菓子、乳製品などは避けましょう。
- ♥ぐったりして水分摂取ができない場合は早めに病院受診をしましょう！
- ♥下痢の時はこすって拭かずにお尻拭きで軽く押さえて拭きましょう。広範囲で汚れた時はぬるま湯で流しましょう(オムツ着用の子)

## 12月に園で出た感染症

インフルエンザ A・・・月組3人 花組3人  
もも組1人

発熱後、すぐに病院受診をして抗原検査をしても【偽陰性】になります。

理由はウイルスが持つ特有のタンパク質が増えているので検出されません。

検査は発熱後半日(約12時間経過後)が望ましいです。



## 子どもの火傷に注意

火傷で救急搬送された人のうち、最も多いのが1歳児、次いで0歳児です。火傷というとストーブやヘアアイロン等を思い浮かべますが、一番多い原因は味噌汁やスープなどの熱い食べ物です。火傷はバタバタしている時間帯やちょっとしたすきに起こるので注意しましょう！コタツや電気カーペット、カイロ等は長時間同じ部位にあたっていると気が付かないうちに低温火傷をします。特に子どもは大人より皮膚が薄い為、低温火傷になりやすいです。



もし火傷してしまったら・・・

- ◆すぐに流水で冷やす(15~20分程)
- ◆服の上から熱湯を浴びた場合は衣服を着たまま冷やす(無理やり服は脱がせない)
- ◆水ぶくれができる時や火傷の範囲が広い時は病院受診する